



春山 敏明 議員 (新風)



行財政経営における対話型A-1 チャットGPT等の活用について

Q 本市での様々な計画等の構想、企画段階におけるチャットGPTの活用について伺いたい。

A 市長

チャットGPTについては、既に私と幹部職員にデモンストレーション及び説明が行われたところで、今後、全庁的にチャットGPTの検証を進めていきたいと考えています。

一般的にチャットGPTの活用方法の一つとして、構想や企画を考える際のアイデア出しに利用することが想定されていますので、今後庁内で検証を行う際、そのような観点からも活用の可能性やリスクについて調査研究をしていきたいと考えています。

その他の質問

☆令和元年東日本台風災害復旧工事の説明会時に要望した市民の声の反映について  
☆マイナンバー関連のシステム点検の要請について



田所 良夫 議員 (新政クラブ)



「進化する佐野市」に選ばれる佐野市について

Q 市長は施政方針で「私が30年の政治活動を通して学んだことは、人とのつながりが全ての根源にあり、人との絆がなければ何事もなし遂げられない。」と述べているが、現在のAゾーン用地買収等については人とのつながりが希薄に感じられ、懸念している。

A 人とのつながりをつなぎ止め、再結するため、人とのつながりを根底に、市長の座右の銘、知行合一を基に、今こそ率先垂範し、本市のトップリーダーとしてAゾーン開発に向けた土地買収にご尽力いただきたいと考えているが、所見を伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

市としては鋭意努力していますが、相手先の意向が変わらない以上は、ただいま田所議員がおっしゃるような、市長のほうからの市への用地買収や民間開発への訪問ということは今の時点では考えられないと考えています。

その他の質問

☆地域未来投資促進法による重点促進区域の設定と本市の産業振興について



滝田 洋子 議員 (日本共産党議員団)



重度心身障がい者医療費の助成について

Q こども医療費は窓口無料になっているが、なぜ重度心身障がい者医療費は窓口無料にできないのか。障がいを抱えている方やその家族には、償還払いによる医療費申請に出向くことがとても負担である。ほかの自治体では自動還付方式を取り入れているところがあるが、本市の考えを伺いたい。

A こども福祉部長

本市では申請手続の負担軽減のため、代理の方による窓口申請や郵送による申請の受付も実施しています。ご指摘の自動還付方式の導入にあたっては、先進地の取組事例を調査検討しました結果、自動還付方式を効果的に運用するためには、医療機関や審査支払い機関との広域的な連携や調整が必要ことから、本市のみでの自動還付方式を採用することは難しいものと考えています。

その他の質問

☆自転車ヘルメットについて  
☆市営住宅の入居状況と設備について  
☆市役所南側の市民広場駐車場利用について

